

平成29年度事業報告

1. 研究発表会・セミナー・公開講演会等の開催

(1) 研究発表会

1) 本部: 第69回大会を開催

5月26～28日、奈良女子大学、参加者709名 研究発表: 口頭発表143題、ポスター発表182題

2) 支部: 研究発表会、卒業論文・修士論文発表会等を開催

東北・北海道支部	9月9日
関東支部	2月16日
中部支部	9月2日、2月17日
関西支部	10月15日
中国・四国支部	10月1日
九州支部	10月7日

3) 部会: 研究発表会を開催

家政学原論部会	8月20日
生活経営学部会	8月25日
家族関係学部会	10月22日
食文化研究部会	11月26日
被服衛生学部会	8月30日
服飾史・服飾美学部会	11月25日、3月11日

(2) セミナー

1) 本部: 第2回家政学夏季セミナーを開催

9月3・4日、信州大学、参加者105名 公開講演会、企画講演会、エクスカージョン

2) 部会:

家政学原論部会	8月20日
被服衛生学部会	9月3日
被服整理学部会	9月1・2日
家政教育部会	3月27日
服飾史・服飾美学部会	9月3日
被服心理学部会	8月24・25日 3月3日

(3) 公開講演会・シンポジウム等

1) 本部: 第69回大会時に開催(5月27・28日)

公開講演会、シンポジウム、教育講演、国際交流ワークショップ、家庭生活アドバイザー資格検討委員会企画シンポジウム、東日本大震災生活研究プロジェクト活動報告、生活工学特別公開セッション、ランチョンセミナー

2) 支部: 公開講演会を開催

東北・北海道支部	9月9日
関東支部	4月22日、9月16日、11月18日
中部支部	9月2日
関西支部	4月22日、10月15日
中国・四国支部	9月30日
九州支部	10月7日

3) 部会: 公開講演会を開催

生活経営学部会	8月26日
家族関係学部会	10月21日
食文化研究部会	11月26日
被服衛生学部会	9月3日
色彩・意匠学部会	2月24日
服飾史・服飾美学部会	11月25日
住居学部会	5月27日

部会企画を開催

被服整理学部会	5月27・28日
被服衛生学部会	9月3日
食品組織部会	5月27日

4) 若手の会: 第69回大会時にシンポジウム(5月28日)を開催

2. 学会誌・その他の図書の刊行

(1) 本部

1) 学会誌: 「日本家政学会誌」68巻4号～12号及び69巻1号～3号(12回)を各3,000部発行し、J-STAGEで公開した。

【掲載された論文の種類・部門別編数内訳及び総ページ数】

巻号	第68巻										第69巻			掲載された論文数合計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
種別	報文	1	2	2	2	1	2	2	1	3	3	4	2	25
	ノート	1	0	0	0	1	1	1	1	0	1	0	1	7
	資料	0	1	1	1	2	0	1	2	2	2	1	2	15
部門別編数	原論・経営				1	1			1			2		5
	児童・家族				1				1			1	1	4
	食物	2	1		1	2	3	1	1	2	1		2	16
	被服		2						2		2	3	1	11
	住居			2						1	1		1	5
	教育・その他			1		1		1	1		1	1		6
合計	2	3	3	3	4	3	4	4	5	6	5	5	47	
ページ数	15	28	35	26	37	29	38	46	49	70	47	52	472	

【投稿された論文の部門別内訳】

▲減少(編)

部門	原論・経営	児童・家族	食物	被服	住居	教育	その他	合計
平成28年度	8	14	31	15	6	8	2	84
平成29年度	1	11	28	17	8	10	2	77
増減	▲ 7	▲ 3	▲ 3	2	2	2	0	▲ 7

【審査が終了した論文の内訳】

(編)

内訳	掲載済	印刷中	著者取り下げ	却下	合計
平成29年度	38	15	20	15	88

2) 大会要旨集: 第 69 回大会研究発表要旨集、5 月に 900 部発行、J-STAGE で公開。

3) セミナー要旨集: 第 2 回家政学夏季セミナー講演要旨集、8 月に 150 部発行。

(2) 支部: 以下の要旨集等を刊行した。

東北・北海道支部	「平成 29 年度第 61 回研究発表会要旨集」
関東支部	「第 20 回家政学関連卒業論文・修士論文発表会要旨集」 「第 3 回統計講習会発表会要旨集」
中部支部	「第 62 回(平成 29 年度)大会要旨集」 「第 18 回家政学関連院生・学生研究発表会要旨集」
関西支部	「平成 29 年度研究発表会要旨集」
九州支部	「第 63 回(2017 年度)研究発表要旨集」

(3) 部会: 以下の部会誌・研究誌、セミナー要旨集等を刊行した。

家政学原論部会	「家政学原論研究」(No.51;J-STAGE 上に公開) 「家政学原論部会夏期セミナー発表要旨集」
生活経営学部会	「生活経営学研究」 「生活経営学部会夏期セミナー報告要旨集」
家族関係学部会	「家族関係学」(No.36;J-STAGE 上に公開) 「家族関係学セミナー 公開シンポジウム・自由報告要旨集」 「家族関係学部会ニュースレター」 「家族関係学部会メールマガジン」
児童学部会	「児童学研究」
食品組織部会	「食品組織部会会報」
食文化研究部会	「会誌食文化研究」「会誌食文化研究創立30周年記念」
被服構成学部会	「被服構成学部会誌」
被服衛生学部会	「被服衛生学」 「被服衛生学セミナー要旨集」
被服整理学部会	「被服整理学夏季セミナー要旨集」
被服心理学部会	「被服心理学部会夏季セミナー要旨集」「被服心理学部会春季セミナー要旨集」
色彩・意匠学部会	「色彩・意匠学部会会報」 「色彩・意匠学部会春季公開セミナー要旨集」
服飾史・服飾美学部会	「服飾史・服飾美学部会報」
家政教育部会	「家政教育部会ニュースレター」「家政教育部会第 1 回セミナー要旨集」

3. 研究及び調査の実施

(1) 本部: 東日本大震災生活研究プロジェクトでは、新蛇田地区復興住宅居住者を対象とした温熱環境・行動調査を平成 29 年 4 月および 8 月に実施し、平成 30 年 2 月に牡鹿半島・雄勝地区での定点ヒアリングを行った。石巻の伝統的な食生活の継承を目的とした生活支援として、食生活改善推進委員や農産物生産者・料理従事者への聞き取り調査をもとに石巻の伝統的な料理や特産物の利用についての本の出版に向け、石巻の老舗料亭の協力により試作による確認や内容について再度検討を行い、春・夏の伝統的な料理および特産物の原稿を完成し、出版に向け、最終校正中である。秋・冬版の内容について試作を行い、検討を行った。平成 29 年 10 月に石巻市、女川町、東松島市教育委員会等、12 月に震災当時学校管理職、教諭であった方々を対象としてインタビュー調査を行った。12 月に、防災を意識して建設された東松島市立鳴瀬未来中学校の視察を行った。29 年 9 月に石巻市仮設住宅集会所を訪問し、「じちれん」に協力依頼をして復興住宅居住者にインタビューを行った。11 月に仮設住宅集会所にて組紐ワークショップ開催し、災害時から現在までの衣生活についてのインタビューを実施した。

(2) 支部: 関東支部若手の会で勉強会を実施
中部支部若手の会で勉強会、講習会を実施

(3) 部会: 研究会、調査等を実施

家政学原論部会	食文化研究部会	被服材料学部会	被服整理学部会	被服構成学部会
被服衛生学部会	色彩・意匠学部会	服飾史・服飾美学部会	家政教育部会	

4. 研究の奨励及び研究業績の表彰

(1) 本部

- 平成 29 年度日本家政学会賞として以下の通り表彰した。
学会賞: 長津美代子氏、小川宣子氏
奨励賞: 田中謙氏
功労賞: 佐々井啓氏、中島明子氏、磯田憲生氏
- 活動助成として以下の支部、部会に助成を行った。
支部: 関東支部、中部支部、関西支部、九州支部
部会: 生活経営学部会、家族関係学部会、食文化研究部会、被服整理学部会、被服構成学部会、被服心理学部会、色彩・意匠学部会、服飾史・服飾美学部会、家政教育部会
- 支部活動活性化サポートとして以下の支部に助成を行った。
関東支部、中部支部、関西支部
- 第 69 回大会活性化提案企画として以下の部会および若手の会に助成を行った。
部会: 住居学部会
若手の会
- 第 69 回大会において白井菜月氏、小泉昌子氏に「若手研究者ポスター賞」を授与した。

(2) 支部

- 東北・北海道支部:
 - 若手研究者 4 名へ研究助成金を支給した。
 - 研究発表会において、院生・学生発表者 4 名へ発表奨励賞を授与した。
- 関東支部:
 - 家政学関連卒業論文・修士論文発表会において卒論 4 題 10 名・修論発表者 4 名に支部長賞を授与した。
- 中部支部:
 - 若手の会の活動に奨励金を支給した。
 - 支部大会発表者 1 名に中部支部大会発表奨励賞を授与した。
 - 家政学関連院生・学生研究発表会発表者 2 名に中部支部院生・学生発表奨励賞を授与した。
- 関西支部:
 - 若手研究者 5 名に若手優秀発表賞を授与した。
- 中国・四国支部:
 - 若手研究者 1 名に支部賞を授与した。
- 九州支部:
 - 高校生による家政学研究発表会を開催し、7 グループ (27 名) に感謝状を授与した。

(3) 部会

- 家政学原論部会: 各地区会および行動計画研究グループに研究活動費を補助した。亀高学術出版賞を 1 名に授与した。
- 生活経営学部会: 各地区会および若手の会に研究活動費を補助した。
- 食文化研究部会: 石川松太郎食文化研究奨励賞を 1 名に授与した。
- 被服構成学部会: 第 18 回全国中学生創造ものづくり教育フェアで被服構成学部会賞及び奨励賞を授与した。

5. 内外の関連学協会等との連携及び協力

(1) 本部

- 国際交流委員会: 国際家政学会 (IFHE)・アジア地区家政学会 (ARAHE) の組織や大会に関する広報、IFHE との連携活動 (年次理事会への国際担当特別委員の派遣、国際家政学会日本連絡会の活動、IFHE 会費代行サービスの実施)、

- ARAHE との連携活動(日本開催の第 19 回 ARAHE 大会実行委員会に協力)、学会誌に「特別企画 国連の持続可能な開発目標(SDGs)に関する国際家政学会(IFHE)の意見表明草案」シリーズ掲載等の活動を行った。
- 2) 関連学会との交流: 日本学術会議健康・生活科学委員会家政学分科会及び関連学会と連携して、生活科学系コンソーシアムへの活動を推進した。
 - 3) 学協会関係: (一社)日本調理科学会、(一社)日本繊維製品消費科学会、日本家庭科教育学会他、関連学協会との事業の共催、学会誌の交換、情報の交換等を行った。
 - 4) 公益信託家政学研究助成基金: 学会員 1 名に対し研究助成された。

- (2) 部会: 家族関係学部会 韓国家族関係学会(KAFR)秋期大会(韓国ソウル市、祥明大学校)に出席し、基調講演を行った。
児童学部会 ORIGAMIワークショップを開催し、日本文化の紹介及び会員交流を行った。

6. その他の目的を達成するために必要な事業

- (1) 総務委員会: 一般社団法人移行に伴い諸規程等の全面見直しを行ってきたが、平成 29 年度も引き続き「規程等集」の整備を行った。
- (2) ホームページ委員会: 掲載依頼記事の迅速なアップロードを行った。
- (3) 編集委員会: ①編集委員会に属する規程等の見直しを行った。②査読の迅速化に努めた。③学会誌論文と年次大会の研究発表要旨を、J-STAGE で公開した。
- (4) 刊行委員会: 家族関係学部会を中心として著書刊行の準備を行った。
- (5) 家庭生活アドバイザー資格検討委員会: ①家政学に関する資格認定準備のためのパイロット事業を実施した。②資格認定委員会を設置し、資格認定規程および資格認定委員会規程が整えられ、資格認定を開始した。

7. 本部、支部及び部会の総会等の開催

(1) 総会

- 1) 本部: 平成 29 年度代議員総会、5 月 27 日、奈良女子大学 講堂、参加者 66 名(代議員 49 名(内本人出席 36 名、書面出席 13 名)、理事他 17 名)

2) 支部:

通常総会	東北・北海道支部 関西支部	関東支部 中国・四国支部	中部支部 九州支部
臨時総会	東北・北海道支部	関東支部	関西支部

3) 部会:

通常総会	家政学原論部会 食品組織部会 被服構成学部会 服飾史・服飾美学部会	生活経営学部会 食文化研究部会 被服衛生学部会 家政教育部会	家族関係学部会 被服材料学部会 被服心理学部会	児童学部会 被服整理学部会 色彩・意匠学部会
臨時総会	被服材料学部会	被服整理学部会	被服構成学部会	被服衛生学部会

(2) 理事会、役員会等

- 1) 本部: 理事会 4 回、臨時理事会 2 回、役員連絡会 3 回、全体部会長会 1 回

2) 支部:

東北・北海道支部	支部役員会 4 回
関東支部	支部役員会 6 回
中部支部	支部役員会 3 回、支部役員連絡会 2 回
関西支部	5 回(うち 1 回はメール会議)
中国・四国支部	支部常任幹事会 3 回、支部機関幹事会 1 回
九州支部	支部役員会 1 回、支部臨時役員会 2 回

3) 部会:

家政学原論部会	常任委員会 6 回、新旧役員会 1 回
生活経営学部会	部会常任委員会 5 回、部会役員会 1 回
家族関係学部会	部会役員会 2 回
児童学部会	2 回
食品組織部会	1 回
食文化研究部会	6 回
被服材料学部会	部会幹事会 2 回
被服整理学部会	1 回
被服構成学部会	3 回
被服衛生学部会	2 回
被服心理学部会	2 回
色彩・意匠学部会	3 回
服飾史・服飾美学部会	3 回
住居学部会	1 回

家政教育部会	3回
--------	----

4) 若手の会:幹事会 1回

(3) 各種委員会

1) 本部:

財務委員会	1回
企画・広報委員会	5回
国際交流委員会	6回
編集委員会	4回
研究発表審査委員会	1回
刊行委員会	1回
学会賞選考委員会	2回
功労賞推薦委員会	2回
第2回家政学夏季セミナー実行委員会	4回
第3回家政学夏季セミナー実行委員会	3回
家庭生活アドバイザー資格検討委員会	5回
家庭生活アドバイザー資格認定委員会	5回
役員選挙管理委員会	5回

2) 支部:

関東支部	若手の会幹事会 3回、選挙管理委員会2回
中部支部	若手の会役員会 3回、中部支部奨励賞選考委員会 3回、選挙管理委員会 2回
関西支部	役員選出委員会 1回
中国・四国支部	支部賞選考委員会 2回、選挙管理委員会 2回
九州支部	選挙管理委員会 2回

3) 部会:

家政学原論部会	編集委員会、選挙管理委員会、50周年企画委員会等 10回
家族関係学部会	編集委員会他 10回
児童学部会	編集委員会 5回
食品組織部会	ポスター展示実行委員会他 1回
食文化研究部会	会誌編集委員会他 11回
被服材料学部会	編集委員会他 4回
被服整理学部会	夏季セミナー実行委員会 1回
被服衛生学部会	セミナー実行委員会 1回、公開講座実行委員会 1回
被服心理学部会	セミナー実行委員会 2回
色彩・意匠学部会	セミナー実行委員会他 3回
服飾史・服飾美学部会	夏季セミナー実行委員会他 3回
家政教育部会	セミナー実行委員会他 3回

8. 会員

会員の状況(平成30年3月31日現在)

		正会員 (永年会員)		学生会員	海外会員	賛助会員	計	増減
支部	東北・北海道	202	(13)	9	-	-	211	▲9
	関東	953	(42)	77	-	-	1,030	2
	中部	258	(8)	22	-	-	280	▲2
	関西	470	(19)	41	-	-	511	▲4
	中国・四国	234	(10)	38	-	-	272	▲11
	九州	191	(6)	24	-	-	215	▲4
名誉会員		12	-	-	-	-	12	0
海外会員		-	-	-	9	-	9	1
賛助会員		-	-	-	-	35	35	2
会員種別合計		2,320	(98)	211	9	35	2,575	▲25
前年度との増減		▲29	12	1	1	2	▲25	▲減少

▲減少

9. 附属明細書に関する事項

平成29年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しません。